

2026年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】

授業科目名	キリスト教社会倫理		教員氏名	今村 愛喜	
科目ナンバー	I-1・2-1				
学年	専攻科		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	1単位	
必修・選択	卒業必修		実務経験	幼稚園教諭、病院チャプレン	19年
テーマ	キリスト教信仰を土台とした社会倫理を学ぶ。				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	キリスト教信仰に基づく社会倫理について講義する。キリスト教信仰を理解し、キリスト教倫理と社会福祉の精神と関連性を学び、倫理的思考を深める。特に介護福祉専攻の学生の専門性を高めるために、人間の終末期、またその関わりへの学びを深め(高齢者、病者などへのたましいのケア)、キリスト教信仰に基づく「愛と奉仕」の精神性と倫理観を養い育むことを目指す。 高齢者施設・病院チャプレン(主にホスピス)の、終末期におけるスピリチュアルケアの経験を通して、将来の具体的な状況や働きに生かせる授業を行う。				
授業の到達目標	キリスト教に基づく社会倫理の基本的な考え方を説明できる。				
	キリスト教社会倫理の考え方を基本として、具体的な状況における倫理的判断ができる。				
	人間の終末期において、キリスト教的社会倫理観をもって、乳幼児から高齢者まで、様々な立場や状況の人に共感し、寄り添うことができる。				
テキスト	『聖書』(新共同訳、かつ、旧約聖書と新約聖書の双方が収録されたもの)。その他に毎回授業時に配付する講義資料。詳細は第1回授業にて説明する。				
参考書	適宜紹介する。				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グループクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他:	授業内課題をリアクションペーパーに準じた扱いとして対話や授業で活用する。			○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・筆記試験	40	筆記試験		
	授業内課題・発表等	10	授業時の小テスト		
	参加度・学習態度等	40	チャペルアワーレポート		
	その他	10	教会出席レポート		
再試験	行う	行なわない場合の理由			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション、キリスト教社会倫理とは	
	授業外学習	授業前: 聖書を準備する。 授業後: 授業のまとめをする。	210分
第2回	テーマ 内容	聖書に基づく「人間の生と死」	
	授業外学習	授業前: 指定された課題に取り組む。 授業後: 授業のまとめをする。	210分
第3回	テーマ 内容	聖書に基づく「エンドオブライフ・ケア」	
	授業外学習	授業前: 指定された課題に取り組む。 授業後: 授業のまとめをする。	210分
第4回	テーマ 内容	聖書に基づく「たましいのケア」(スピリチュアルケア)①	
	授業外学習	授業前: 指定された課題に取り組む。 授業後: 授業のまとめをする。	210分
第5回	テーマ 内容	聖書に基づく「たましいのケア」(スピリチュアルケア)②	
	授業外学習	授業前: 指定された課題に取り組む。 授業後: 授業のまとめをする。	210分
第6回	テーマ 内容	聖書に基づく「グリーフケア」	
	授業外学習	これまでの授業の内容をよく復習し、理解を深める。	210分
第7回	テーマ 内容	総括	
	授業外学習	これまでの授業の内容をよく復習し、理解を深める。	210分

課題に対するフィードバックの方法

- ・クラス全体で共有すべき事柄を含むものについては、授業内で説明を加えるなどの対応をする。
- ・授業内及び授業外学習に関する質問は、授業前後の時間及びオフィスアワー(別途掲示)に対応する。